

地震
備えて安心 57
～南海地震はいつ来る
災害への備え～

防災サポーター養成講座

災害や防災対策について一定の知識と技術を持った人材を育成することを目的に開催している『防災サポーター養成講座』が昨年11月27日から全3講座の内容で行われ、4年目を迎えた今年度は22人の方が全過程を修了されました。

11月27日に行われた第1講座では、高知大学農学部の大年邦雄教授を講師に迎え、自分たちの暮らしている地域は、どんな場所であるのか、どんな場所であるのか、南海地震の仕組みや地域の防災対策、自主防災組織の重要性を詳しく学ぶことができました。



大年教授による防災講座
(第1講座)



AEDを使用した心肺蘇生法
(第2講座)



ケガ人の搬送方法を学ぶ参加者
(第3講座)

第2講座は普通救命講習として、黒潮消防署員より救命に関する知識と技能を身に付け行動できるよう、心肺蘇生法とAEDの操作について学びました。

第3講座では、防災気象講習として、高知地方気象台の野澤武志さんを講師に、日ごろ起こりやすい台風や大雨といった風水害などについての講義をいただきました。

また、16年前に発生した阪神・淡路大震災を兵庫県淡路島の淡路市で実際に体験し、消防団員として地域の災害対応に当たられた経験を持つ米山正幸さん(現職は野島断層保存館副館長)に、当時の様子をふまえ、被災した直後の災害活動や大きな災害時には日ごろの活動や地域のつながりがいかに大切であるかといった

今後の備えについて講話をしていただきました。

午後からは、実技講習として、日本防災士会高知支部の土居清彦さん・依岡陽子さん・竹田順一さんの3名を講師に身近なものを使っての応急処置や搬送方法、ロープワークなど、災害時に地域で役立つ技術を学びました。

南海地震では、さまざまな被害が予想されますが、一人ひとりの備えが大きな効果を生み、備える人を増やすことで安心して暮らせる地域社会となります。

皆さんも次の機会にはぜひご参加いただき、災害に向き合える、災害に強いまちづくりを一緒に目指しましょう。

そして、わがまちの防災サポーターとなって地域防災力を高めましょう。



春の火災予防運動が実施されます



この運動は、空気が乾燥し、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、皆さんの火災予防への意識を高めることによって、火災の発生を防止し、死傷者の発生の予防、財産の損失を防ぐことを目的として、3月1日から3月7日の7日間、『「消したかな」あなたを守る 合い言葉』を全国統一の標語として行っています。

皆さんも、住宅用火災警報器や消火器の設置・点検を行っていただくとともに、火を取り扱う場合には、細心の注意をさせていただきますようお願いします。

住宅用火災警報器 設置期限まであと3カ月!!

住宅用火災警報器を一般家庭では平成23年5月31日までに設置しなければなりません。(新築や改築をする住宅は平成18年6月1日から設置が義務化されています。)

住宅火災による死者は、6割以上が逃げ遅れによるものであり、発生時間は就寝時間に集中しています。その対策として各家庭に住宅用火災警報器の設置が義務化されました。

設置期限まであと3カ月となっていますので、1日でも早い設置をお願いします。

●このページの記事に関するお問い合わせは、以下をお願いします。

【本庁】総務課 消防防災係 ☎43-2112(直通) 【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第1係 ☎55-3113(直通)